

成人向

家鴨



この度は本作品をお手にとって頂き誠にありがとうございます。

本作品に登場する氏名・固有名詞等実在の物とは一切関わりがありません、また犯罪等助長する意図もありませんので予めご理解下さい。

目次

私欲……3

少女妊婦イラスト……25

あとがき……40



新垣 奈緒 (JC1) 撮影後インタビュー:「すいぶん気持ち良さそうな声出してたけど
入れられると気持ちいい?」「うん…お〇んちゃん気持ちいいよ」「その年で
気持ち良さを知ってるのはすごいね」「そよ? みんなしてるよセックス」

私欲





携帯端末の「Siege」シージと呼ばれるソフト、友達が友達を囲み輪を拡げてグループを大きくしていく。一部の人間たちにより競争化され取り込まれた人々、全く知らない人間同士が同じグループに所属し本名も素性も知らない同士が「友達」と呼称している。そんな中ある時シージを介して出会った男と少女・・・男の名は「フジモリ」属していたグループは「裏口リ会」口リ情報を交換するのを生き甲斐とした少女大好きな密かなグループ。少女の名は「水崎鈴加」属していたのは学校のクラスメート女子数名で構成されていたグループ「援女」援助交際を目的とし小遣い稼ぎをしている秘密のグループ。フジモリがたまたま鈴加を囲んだことで知り合う。最初に話を持ちかけてきたのは鈴加の方である

『フジモリさんて・・・小さい子好きなの?』『えっ?! はははっ・・・まあね』『小さい子と・・・えっちとかしたいの?』『・・・』『あたし・・・JSだよ』『えっ? そうなんだ』『あたし・・・お小遣いくれるならしてもいいよ』

とそんな会話がされた数日後フジモリのマンションに鈴加が尋ねてくる。

『フジモリ・・・さん?』『鈴加ちゃん?・・・想像してたより可愛いね』『アリガト』『ホントにJSなんだ〜びっくりだよ』『あんまり時間無いから・・・いい?』『あっ、そっかそっか・・・3万で良いの?』『あっ、うん・・・でも痛いのはNG、あとアナルセックスもNG、キスもNG、あとは・・・ソフトSMはOK、精液飲むのも中出しも良いよ』『ははははははっ馴れてるんだね・・・』

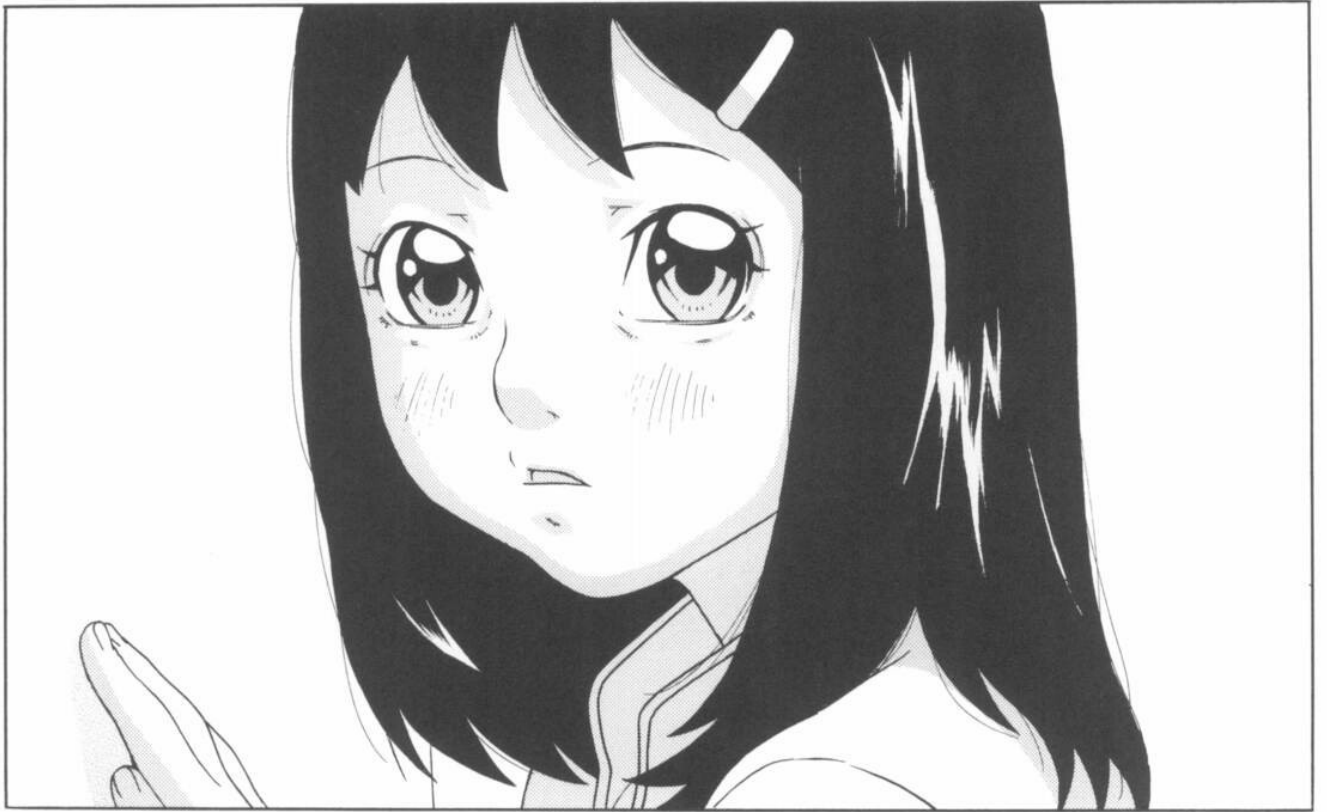
フジモリはお金を渡すと鈴加に抱きつき身体を弄び始めた。



「ちょっとしめってるね」



「直接触ってみよう」



「いつもこんな下着はいてるの？」



『ロリの人ってこういうの好きでしょっ』



「本物の少女の匂いだゝ柔らかいけどすぐに跳ね返ってくる肌質・・・すごい」

「鈴加ちゃんの唇柔らかそうだなあ・・・でもキスNGだっけ・・・残念」

『フジモリさん・・・パンツの上からばっかりだとパンツ汚れちゃうよ』

「あとでこのパンツ売ってくれないかな・・・鈴加ちゃんの匂いとシミの付いたパンツ・・・宝物にするから」

『うゝん、お金くれるなら・・・いいよ』

「鈴加ちゃん・・・フェ・・・フェラ　チオはしてくれるんだよね」

『うん、するよ』

「キレイにしてあるから・・・大丈夫だと思う・・・」

『おちんちんの匂い嫌いじゃないし』

フジモリはズボンとパンツをずらし勃起したイチモツを鈴加の眼前にさらけ出す。

『えっ?! 大っきすぎ・・・あたしの腕くらいあるじゃん!』

長さは鈴加の小さな顔ほど、太さは鈴加の腕ぐらいはある。

『こんなの口に入らないよ・・・あごが外れちゃうよ・・・』



『すごい熱いね』





なんとかフジモリのかマラを口の中に
収め鳴咽をガマンしながらフェラチオを
する鈴加

「あーあー・・・すごいよ鈴加ちゃん」

『ぐふう・・・ごふう・・・』

「（JS少女が俺のチンポ加えて
唇もベロもやわらかくて・・・
たまんない・・・）」



「フェラはもう良いよ・・・これ以上
してもらうと気持ちよくて出ちゃうから」
フジモリはフェラをやめさせ鈴加に服を
脱ぐように伝える

「下着と靴下は履いたままでいいよ
服とスカートだけ脱いでくれる、
あっパンツも」

鈴加は言われるまま服を脱いだ

「目隠しと手錠してもいいかな・・・
きつくしないから」

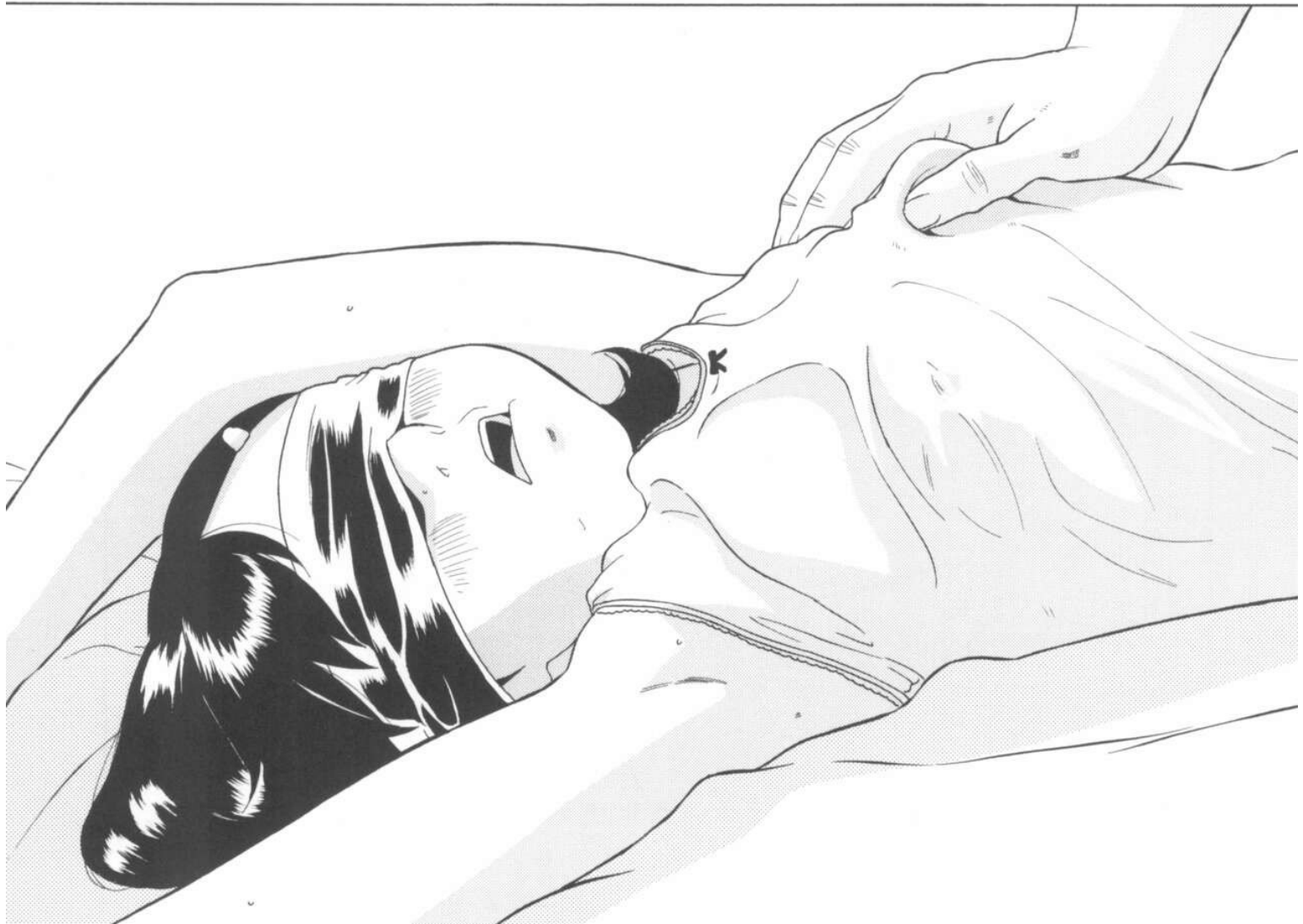
『良いよ、SMするの?』

「いや、監禁飼育のシチュエーションで
やってみたいんだけど」

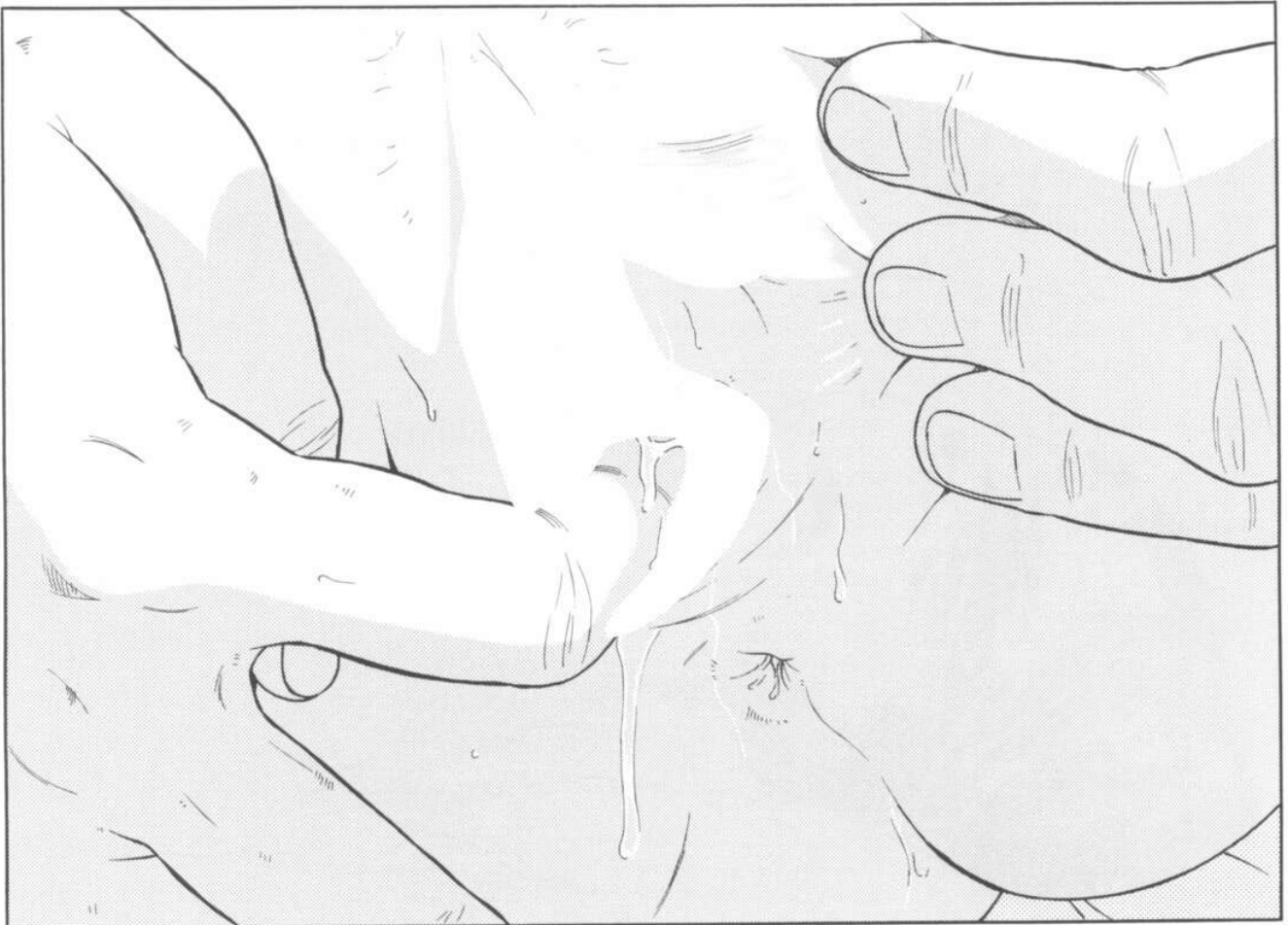
『カンキンシイク?へんたらしい(笑)』



『ちょっとドキドキする』



「鈴加ちゃんのオマンコ・・・可愛いね
陰毛も産毛程度でさらさらしてる、ビラビラ
も柔らかくて指がねっとり吸い付いてくるよ」
『あっ・・・あっ やあっ んん・・・』
「写真やビデオじゃない本物のJSのマンコ
・・・すごい」
フジモリは膣の奥深くまで指を出し入れし、
性器から湧き出るマン汁を全て吸い尽くすかの
ように舌で舐めあげ膣口へと差し込んだ





「鈴加ちゃん・・もうガマンできないよ
入れちゃうよ、入れちゃうからね」

『やつやだああ・・あんな大きいの
はいんないよ』

「大丈夫だよ、女の子のココは
赤ちゃんが通るくらい広がるから」

「それにエッチなおつゆがいつぱい出てるから」
『痛かったら・・やめてね』

フジモリはギンギンに堅くなったイチモツを
鈴加の小さなマンコに押し当てグイグイと奥へ
押し込んでいく

『あああ・・はいってくる・・』

「なっ 中に入った!・・きつい!」

フジモリの極太が小さなマンコに包まれていく
「(俺のチンポがJ'S少女のマンコに入ってる
こんな日が来るとは・・!)」





『ああ～入ってきてる』



『奥まできてる』



「(J S が俺のチンポで感じてる)」



『ああ・・・やだっ あああ・・・』



「チクビがコリコリしてるじゃないか」





「鈴加ちゃん　　いくよ・・もう出るよ」



『だっ　だして・・・』

フジモリは鈴加の中に大量の精液を放出した。

鈴加のマンコから収まりきらない精液が次々とあふれ出る。

「鈴加ちゃん、そのまま動かないで・・・写真撮るから！」

『えっ？ 写真はダメだよ・・・』

「顔は写さないから・・・身体だけ・・・良いでしょ？」

『身体もダメ！ だってネットに出回ったら困るから・・・お互いやバイでしょ』

「アップで撮れば解らないでしょ！」

『嫌っ！ 最初に約束したじゃん、写真もダメって！』

「そうだったけ？・・・でもお金割り増しするから

記念って事で」

『オジさん・・・警察捕まっちゃうよ・・・いいの？』

「警察は俺も困るなくどうする？五十川氏」

そう言うのと隣の部屋から一人の男が

ビデオカメラ片手に戸を開けて入ってくる

「こんにちは！初めまして鈴加ちゃん

JSなのに良い声出すね、隣の部屋で

ガマンするの大変だったよ！鈴加ちゃんの

エッチなセックスばっちりビデオに撮らせて

もらいましたよ」

『だっ誰？どういう事？・・・ビデオ撮影したの？』

「こちらは五十川氏、お友達だよ」

初JSとエッチするんで撮影を頼んだんだよ」

『約束違うじゃん！むかつくー絶対警察に

訴えるからね、オジさんたち逮捕だよ』

「警察は勘弁して欲しいなく」

『ビデオ渡してよ』

「それは無理かな〜記念だし、どうします

フジモリ氏い〜」

「そうですね〜警察に行けないようにアレ

しちゃいましょう、五十川氏」

「アレですか！」

そう言いながら二人の男はアイコンタクト

を取り鈴加に襲いかかる

『ちよっ ちよっとやめてよ いやだっ

はなしてよ』

嫌がる鈴加を無理矢理押さえつけ陵辱する

「ほらほら、気持ちいいことしてるんだから

カメラに向かっていい顔しないと」

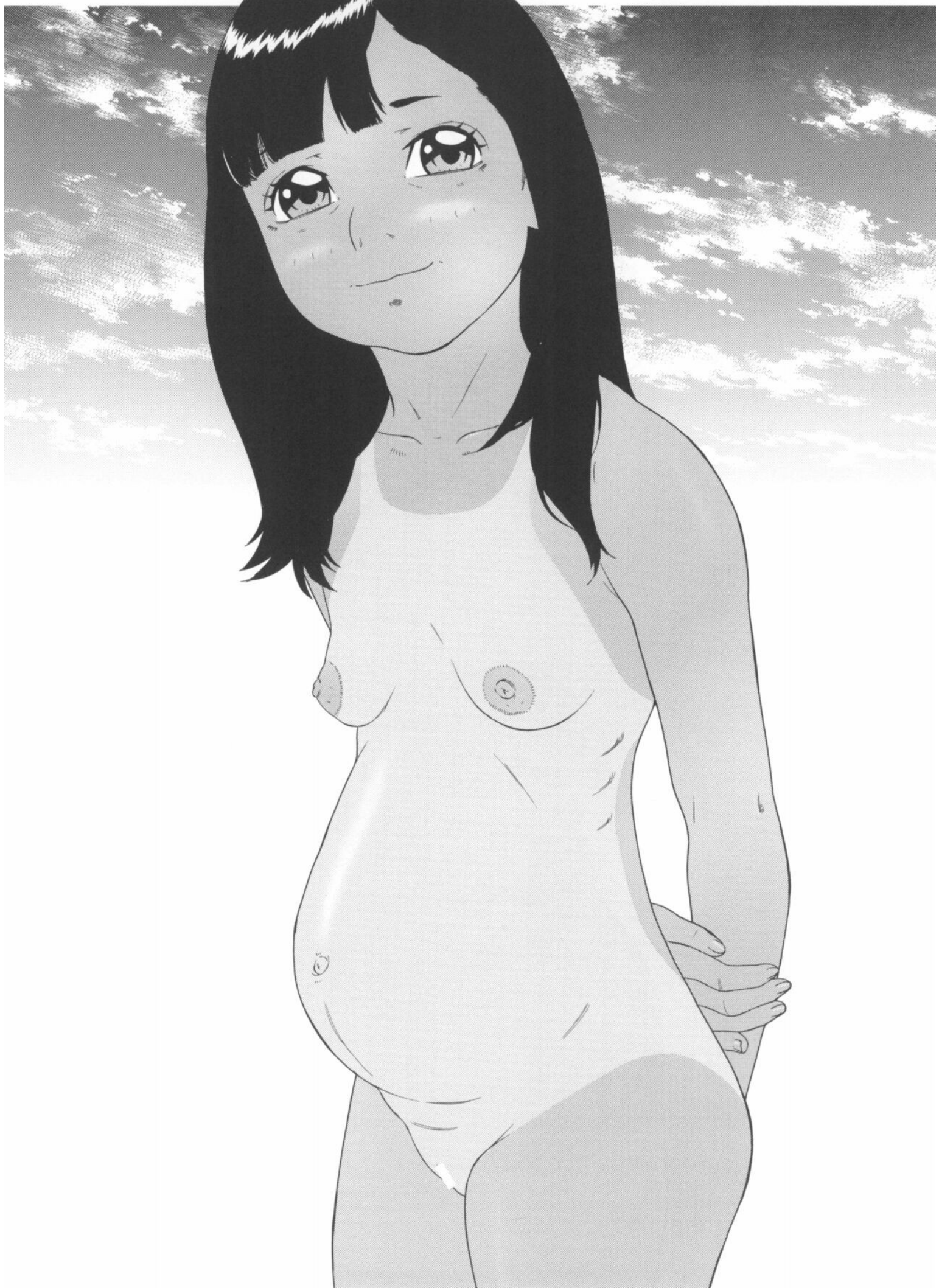


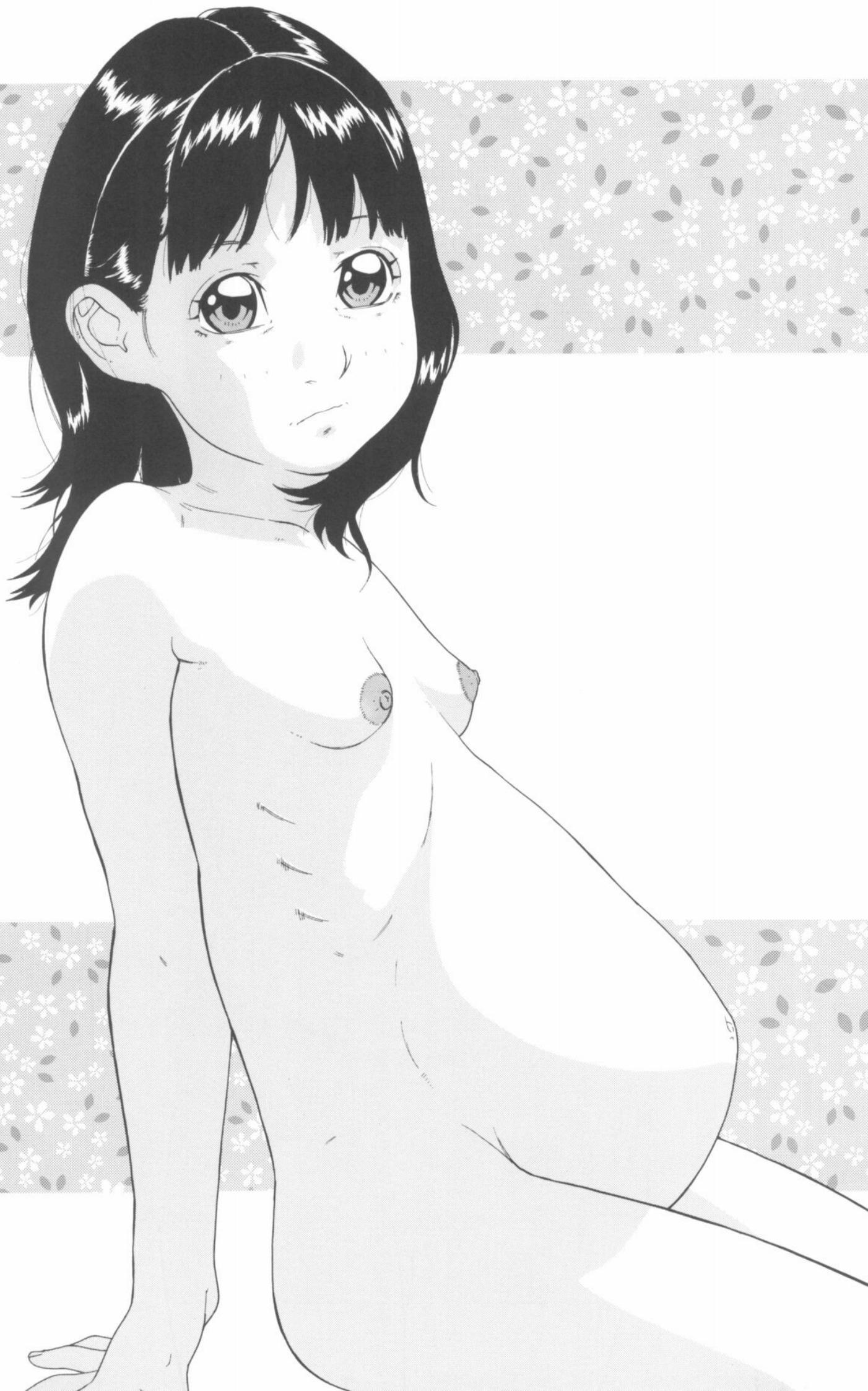


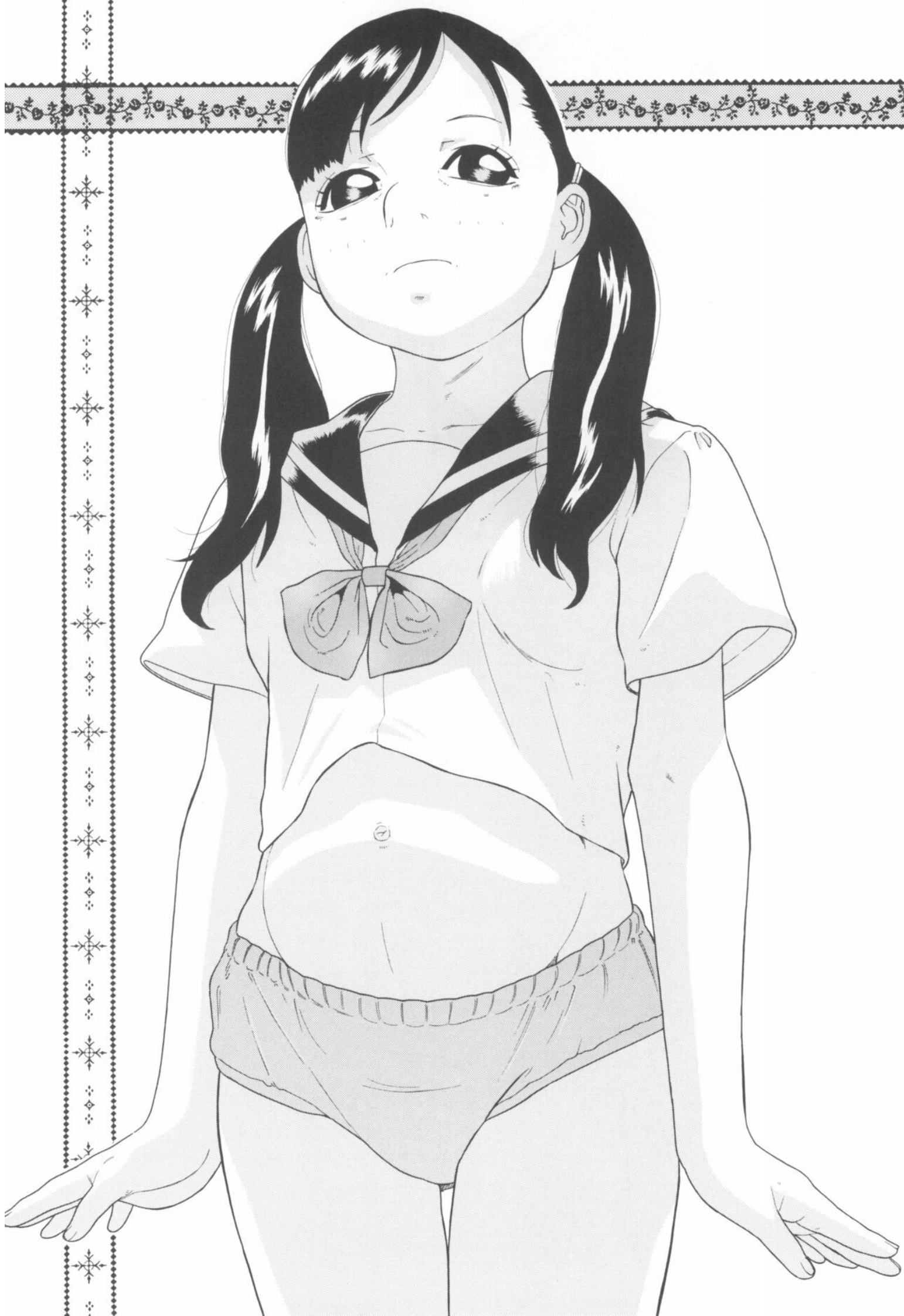
お詫び

本来ならば続きがあり長編となる予定でしたが事情があり本編はここまでとなります。あとがきにて事情を説明してありますのでご一読下さい。



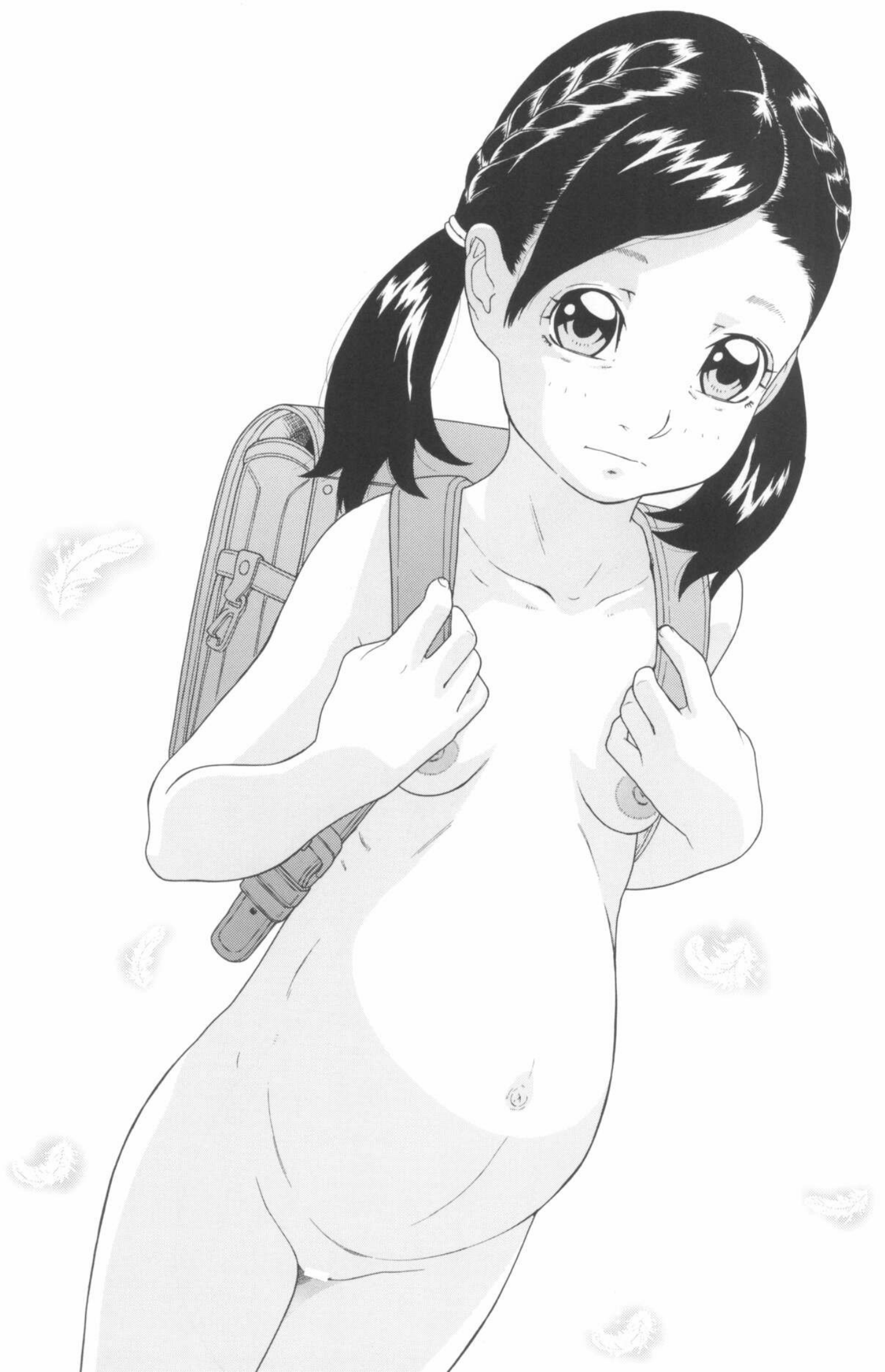


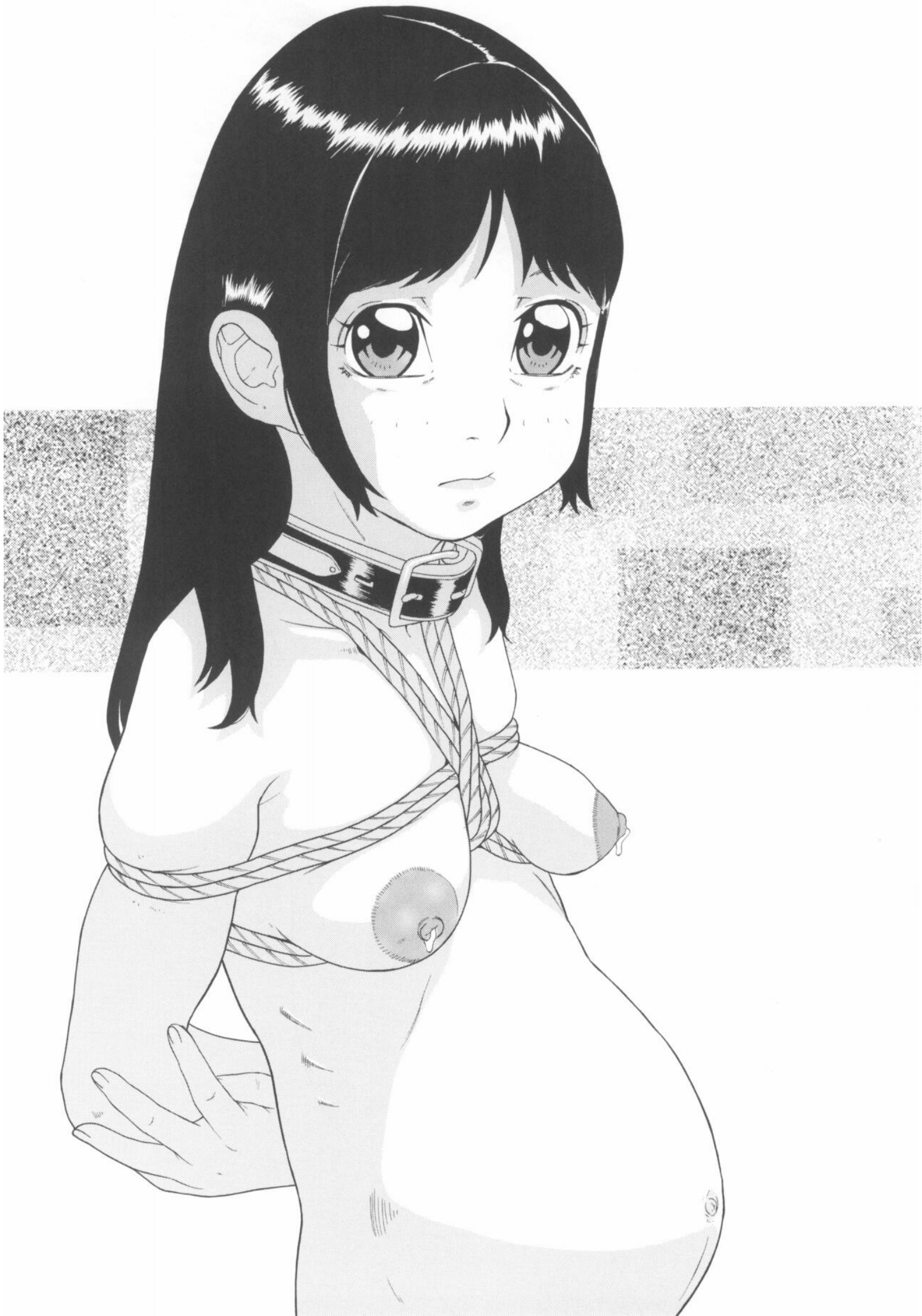


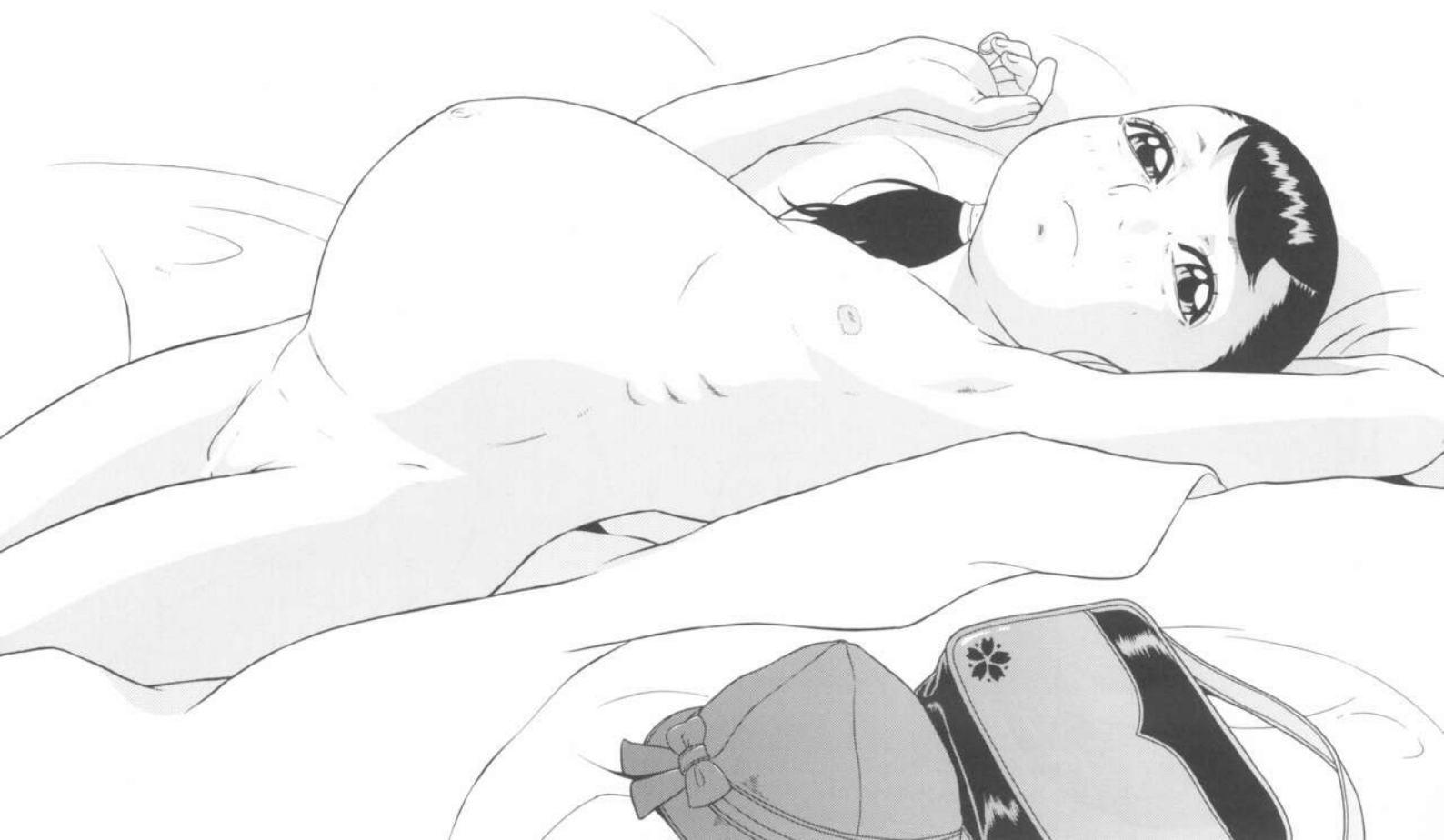






















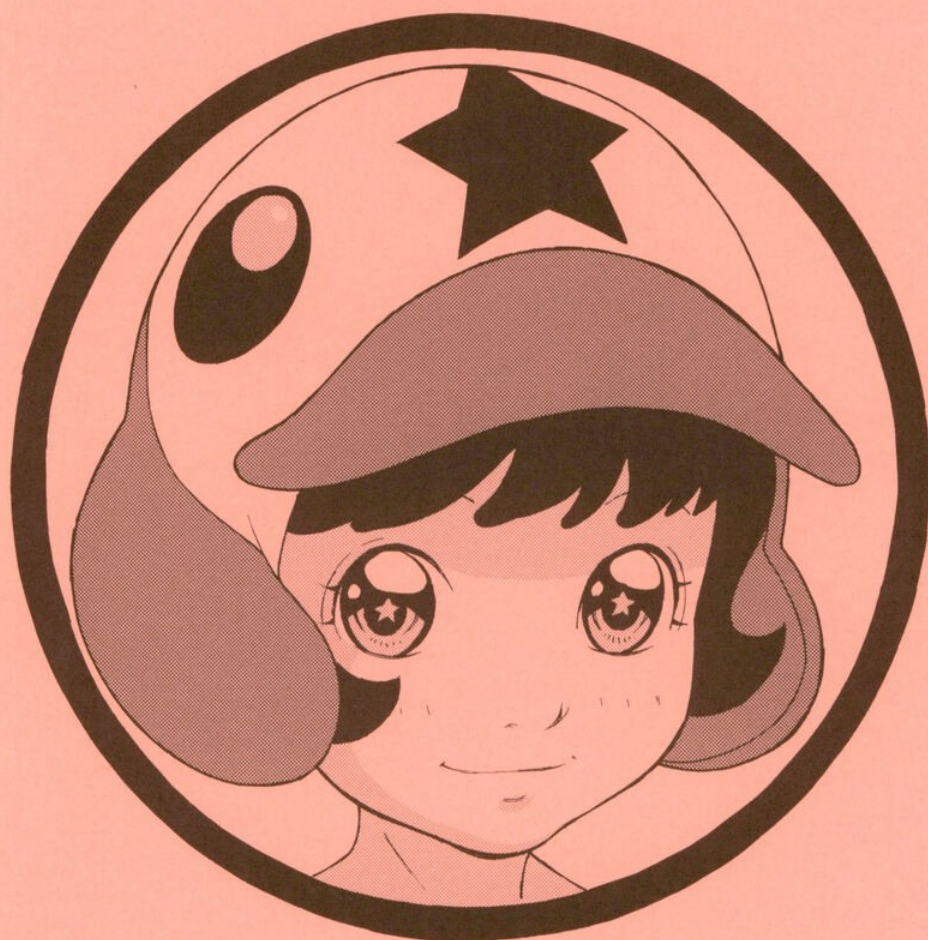


あとがき

昨年(2012年)の10月頃より原因不明の咳が出始めまして、年明けにひどくなり医療機関で診察検査を受けましたが原因が特定できず、投薬で様子を見ることになりました。一時的な効果はあったものの根本的には完治せず(まあ、原因の特定が出来ていないので治しようがない)2月頃一番ひどくて肋骨にヒビが入るほど咳き込んでいました。4月5月頃になって初期に比べれば殆ど出ない時間が多くなりました。咳をすると体力を使ってしまうのでかなり身体が疲れます、そんな中で原稿は進めていました。咳が収まってきてやっと原稿に本腰を入れられる時期になったのですが6月のサンクリちょうど一週間前、左目奥で頭痛が発生、すぐに治ったのですが翌日寝起きて左目の中に影が浮かぶ症状が出ました。強い光を見たときに目の中に黒い影が出来たりするじゃないですか、そんな物かと思い気にしなかったのですが1日経っても影が消えずおまけに左目だけが画像が歪んできて「こりゃあ・・・まずいな！」と一日内障や網膜剥離なんて事になったら使い物にならない・・・と事て平日朝一に眼科へ診療にいきました。検査の結果・・・OLさんとかストレスで良く出る病気で、ストレス以外では睡眠不足や身体疲労でも出るとのこと。症状としては眼球は3層構造になっており、その第2層部分に水が溜まりその部分が腫れ上がる。眼底部分が晴れて盛り上がっているのを目に入った映像が腫れている分だけ歪むと言うものです。眼圧検査・眼球内撮影して写真を見せてもらいました、目の中に映る影と全く同じ腫れが画像に出ていました。治療に際して・・・この病気は自然に治るそうです、一応血流を良くする薬を処方してもらい3週間様子を見ることになりました。7月23日現在は目の影も無くなり画像も歪みはなくなりました。こんな状態だったので本原稿が進まず中途半端な出来になってしまいました、トホホ。

奥付	家鴨
タイトル	
発行年月日	2013年08月11日(初)
発行	モモンガ倶楽部
制作著作	林原ひかり
サークル連絡アドレス	okosama@par.odn.ne.jp
印刷	(有)ねこのしっぽ

この作品に収められている全てのイラスト・絵の著作権は林原ひかり及びモモンガ倶楽部が所有しています。著作権者に無断で本作品の転載・コピー・改変・データ化しWEB等での公開及び第三者へ営利目的の有無を問わず転売する行為を全て固く禁じます。本作品は成人向けを主張し販売しているため未成年者への販売は許可していません、閲覧も同様に禁止しています。WEB上にあるサイトで林原ひかりの作品をバナー等に無断使用している海外サイトがありますが著作権者は利用許可を出していません、また著作権者と一切関係はありませんので閲覧に際して問題が起きても当方には責務がありませんのでご承知ください。



モモンガ倶楽部